

留 学 報 告 書

記入日:2014年7月20日

| | |
|--------------------------|---|
| 所属学部／研究科・学科／専攻 | 政治経済学部／政治学科 |
| 留学先国 | イギリス(スコットランド) |
| 留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語) | 和文: グラスゴー大学 現地言語: The University of Glasgow |
| 留学期間 | 2013年9月～2014年6月 |
| 留学した時の学年 | 3年生(渡航した時の学年) |
| 留学先での学年 | 3年生(留学先大学で在籍した学年) |
| 留学先での所属学部等 | School of Political Science and Social Science |
| 帰国年月日 | 2014年6月14日 |
| 明治大学卒業予定年 | 2015年3月 |
| 留学先大学について | |
| 形態 | <input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他 |
| 学年暦 | 1学期:9月上旬～12月下旬 2学期:1月上旬～5月下旬 |
| 学生数 | 20,000人 |
| 創立年 | 1451年 |

| 留学費用項目 | 現地通貨(€) | 円 | 備考 |
|-----------|---------|--------------|-----------------------|
| 授業料 | | 273万円 | |
| 宿舍費 | | 円 | 授業料に含まれる |
| 食費 | | 120万円 | 図書・学用品・教養娯楽・被覆・医療費を含む |
| 図書費 | | 円 | |
| 学用品費 | | 円 | |
| 教養娯楽費 | | 円 | |
| 被服費 | | 円 | |
| 医療費 | | 円 | |
| 保険費 | | 17万円 | 形態:AIU保険 |
| 渡航旅費 | | 15万円 | |
| 雑費 | | 円 | |
| その他 | | 円 | |
| 合計 | | 425万円 | |

渡航関連

渡航経路:アムステルダム経由、成田～グラスゴー国際空港

渡航費用

チケットの種類 e チケット

往路

復路

合計 15 万円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

京王観光

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学の学生寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数)

3)住居を探した方法:

留学斡旋会社を通して決まっていました。

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

キャンパスからは少し離れますが、個室を希望する場合は良いと思います。キャンパスに近い寮は相部屋が多いです。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか?大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

直接大学の留学生相談窓口か担当のスタッフに連絡しました。もしくは、自分が利用した留学会社に連絡していました。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

実際に危険な目にあつたことはありませんでしたが、大学が周辺地域情報や必要な対策と相談窓口を用意していました。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮には Wi-Fi ルーターが各個人の部屋についています。また、構内でも Wi-Fi が飛んでいるので、通信環境で困ることはほとんどありません。ただ、部屋によっては繋がりにくい部屋もありました。街のカフェでもほとんど無料の Wi-Fi が利用できます。

5)現地での資金調達はどうに行いましたか?(例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

主にクレジットカードを利用し、現金が必要な時はキャッシュパスポートを使って ATM からお金をおろしていました。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

特になし

進路について

| | |
|--|--|
| 1) 進路 | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他: | |
| 2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など | |
| キャリアフォーラムなどの留学から帰ってきた学生向けの就活イベント | |
| 3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) | |
| 総合電機系メーカー:自分の専門分野(開発経済学)に関連した仕事ができるから。 | |
| 4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備,帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) | |
| 留学から帰ってきてから準備を始めるようでは間に合わないので、留学中から情報収集などは入念に行う必要があります。帰ってきてからが自分で思っているよりも時間がないので、帰国の2ヶ月ほど前からESを書き始めて、友人や大学の就職支援制度等を利用して添削をしてもらうといいと思います。また、常に日記をつけたりして、自分の行動の理由付けをするのは効果的です(そのまま自己分析になります)。結局帰国後戦う相手は同じ留学経験者なので、いかに差別化を図るかが重要だと思いました。 | |
| 5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。 | |
| | |
| 6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。 | |
| | |
| 7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。 | |
| | |

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

| | |
|---|---|
| 1)留学先で取得した単位数合計 | 本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。 |
| 120 単位 | <input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:) |
| 2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。 | |
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | 履修した授業科目名(日本語): |
| Politics 2B | 政治学 |
| 科目設置学部・研究科 | school of political science and social science |
| 履修期間 | 2014/1~2014/5 |
| 単位数 | 20 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | 講義形式とチュートリアル併用 |
| 授業時間数 | 1週間に60分が4回 |
| 担当教授 | |
| 授業内容 | international relationship/国際政治学で、特に理論を中心に実際の国際問題を議論する |
| 試験・課題など | 論述形式のテスト(2時間2問) |
| 感想を自由記入 | 日本で国際政治学を履修していたので、海外ではどのように教えているのかが興味があり、履修しました。実際には日本で習った理論がそのまま出てきたので講義を理解するのは簡単でしたが、チュートリアルでは少人数でディスカッションを毎回行っていたので刺激的で楽しかったです。チュートリアルで模擬国連を行ったのが一番勉強になりました。 |

| | |
|-----------------------------|---|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | 履修した授業科目名(日本語): |
| Economic and social history | 経済、社会史 |
| 科目設置学部・研究科 | school of political science and social science |
| 履修期間 | 2014/1~2014/5 |
| 単位数 | 20 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | 講義形式とチュートリアル併用 |
| 授業時間数 | 1週間に 60 分が 4 回 |
| 担当教授 | |
| 授業内容 | 1914 年以降のイギリスの経済、社会史 |
| 試験・課題など | 論述形式のテスト(2 時間 2 問) |
| 感想を自由記入 | 具体的な事例を元にふたつの世界大戦とその前後の社会経済を学びました。イギリスの歴史を勉強したことがなかったために現地で常識と思われていることなどが分からず困ったこともありましたが、全体的には歴史の授業として興味深い内容でした。 |

| | |
|---|--|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | 履修した授業科目名(日本語): |
| Global Inequality and International Development | 格差と発展 |
| 科目設置学部・研究科 | school of political science and social science |
| 履修期間 | 2014/1~2014/5 |
| 単位数 | 20 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | 講義形式とチュートリアル併用 |
| 授業時間数 | 1週間に 60 分が 2 回 |
| 担当教授 | |
| 授業内容 | Aid の変遷とこれからのあり方の議論 |
| 試験・課題など | 論述形式のテスト(3 時間 3 問) |
| 感想を自由記入 | 自分の専門分野として一番興味深く勉強になった講義でした。大学の教授だけでなくシンクタンクや NGO のひとがゲストレクチャーとして講義することが複数回あり、学問的なことだけではなく実践的なことも学べたのがよかったです。毎回担当の学生が論文を要約し発表するのが決まりで、とても刺激的でした。 |

| | |
|---------------------|---|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | 履修した授業科目名(日本語): |
| Public Policy | 公共政策 |
| 科目設置学部・研究科 | school of political science and social science |
| 履修期間 | 2013/9~2013/12 |
| 単位数 | 20 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | 講義形式とチュートリアル併用 |
| 授業時間数 | 1週間に 60 分が 4 回 |
| 担当教授 | |
| 授業内容 | イギリスの事例を中心に公共政策全般特に面白かったのは Crime の講義で、映像なども交えながら講義が展開します。講義外にも映画の上映会などがあり、参加は自由ですがとても参考になります。 |
| 試験・課題など | 論述形式のテスト(2 時間 2 問) |
| 感想を自由記入 | 特に面白かったのは Crime の講義で、映像なども交えながら講義が展開します。講義外にも映画の上映会などがあり、参加は自由ですがとても参考になります。 |

| | |
|---------------------|---|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | 履修した授業科目名(日本語): |
| General3002 | 一般科目 |
| 科目設置学部・研究科 | Bagpipes; History and Repertoire |
| 履修期間 | 2013/9~2013/12 |
| 単位数 | 20 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | 講義と練習 |
| 授業時間数 | 1週間に60分が1回 |
| 担当教授 | |
| 授業内容 | 週一回のバグパイプのレッスンとバグパイプの歴史に関する講義2時間 |
| 試験・課題など | エッセイの提出 |
| 感想を自由記入 | スコットランドの文化を学ぶために大学に設置されている科目です。折角スコットランドに留学したので勉強したいと思い、受講しました。一学期目の息抜きとして重要な講義でした。 |

| | |
|-------------------------------|--|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | 履修した授業科目名(日本語): |
| English as a Foreign Language | 英語 |
| 科目設置学部・研究科 | Language Center |
| 履修期間 | 2013/9~2013/12 |
| 単位数 | 20 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | チュートリアル |
| 授業時間数 | 1週間に60分が4回 |
| 担当教授 | |
| 授業内容 | 英語の4 skills のレッスン |
| 試験・課題など | 各内容にあわせてそれぞれ1時間ずつのテスト(計4回) |
| 感想を自由記入 | 言語を専門に教えている講師から実践的な英語を学びます。政治経済学部でいうACEと同じ感じの授業です。 |

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

| | |
|----------------|------------------------------------|
| 2013年 1月～3月 | 留学のための語学の試験、アプリケーションの締切 |
| 4月～7月 | 選考通過、留学会社によるオリエンテーション |
| 8月～9月 | ビザの取得、渡航準備、最終オリエンテーション、留学開始 |
| 10月～12月 | 留学先での一学期目、エッセイの提出(6本)、試験、冬休み(約1ヶ月) |
| 2014年 1月～3月 | 二学期目、エッセイの提出(4本) |
| 4月～7月 | イースター休暇(約1ヶ月強)、試験、帰国、就活 |
| 8月～9月 | |
| 10月～12月 | |
| 2015年 1月～3月 | |
| 4月～7月 | |
| 8月～9月 | |
| 10月～12月 | |

留学体験記

| | |
|---------------------------|---|
| 留学しようと決めた理由 | 留学を志したきっかけは、高校一年生の時のホームステイの経験です。語学学校に通ったのですが、思うように英語が話せなかったことでクラスに馴染めず、非常に悔しい思いをしました。その時初めて語学の壁にぶつかり、自分の未熟さに愕然としました。私にとってあのホームステイの経験は、人生で初めての挫折でした。そのため、大学生でもう一度チャレンジすることを決めました。また、グラスゴー大学は私は日本で専攻している開発経済学が有名な大学でもあったので、それも理由の一つです。 |
| 留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備 | 留学前に実際にネイティブの学生と交流する機会などを持ったりして、自分の中で英語に対するハードルを下げておくといいと思います。別に試験でもない限り、現地で完璧な英語は要求されないし、自分より圧倒的に英語が離せない南米の学生なども多くいるので、自分に自信を持つといいです。ただ、実際に正確な英語が求められる場面も必ずあるので(試験やプレゼンなど)、基礎的なものを身につけておくのはもちろん必要です。日本に関するネタは必ず用意していきましょう。海外では「日本人」として見られます。 |
| この留学先を選んだ理由 | 「留学しようと決めた理由」と同じ |
| 大学・学生の雰囲気 | 大学はイギリス内だけでなく、ヨーロッパにおいても屈指の古い名門大学で、過去にアダム・スミスなどの著名な学者が教鞭を取ったことでも有名です。多分野の学部があり、市内西部の比較的治安のいい地域にキャンパスがあります。街と一体化したキャンパスは、映画ハリー・ポッターのホグワーツ城のモデルになったと言われています。明治大学に比べて全体の学生数が少なく、そのうち留学生が1割を占めます。正規の学生もヨーロッパに限らず世界各国から来ていて、非常に国際的な環境です。日本人はほとんどいないため、会おうと思わなければまず会うことはありません。いろいろな訛りの英語が飛び交い、図書館は常に満席で、自分を鍛えるにはいい環境だと思います。ソサエティも充実しているので、楽しい学生生活になります。 |
| 寮の雰囲気 | 私が住んでいたのは12人が一緒に住むフラットで、キッチンとバスは共用、各人の部屋は独立した個室でした。各寮によって雰囲気はだいぶ異なります。私が住んでいたところはパーティー寮として有名だったので、毎晩どこかのフラットで盛大にパーティーが開催されていました。各フラットによっても雰囲気は異なり、私が住んでいたフラットは全員の仲が良かったので、食事当番を作ってみんなで夕飯を食べたりしていました。毎週火曜日はピザが安かったので、よくピザパーティーをしていました。 |
| 交友関係 | やはり留学生同士で仲良くなるが多かったです。また、フラットの友達が一番仲が良かったです。友達の友達をどんどん紹介してもらって友達が増えていき、一緒に旅行したり、ヨーロッパ旅行でその子の家に泊めてもらったりする関係も築けました。また、私はinternational student societyに所属しており、そのソサエティでは毎週木曜日にバブナイト、週末はday tripを企画していたので、そこで友達を作ることが多かったです。 |
| 困ったこと、大変だったこと | 特に困難を感じることはありませんでした。大学のサポートも充実しているので、学業面で困ることはあまりないですが、やはり課題の量が圧倒的に多いので、それをこなせるようになるまでは辛い時もあると思います。また、日本よりも何事もゆっくりにしているので、何かを申請したり連絡が必要な時はなるべく早くから行動し、相手に催促し続けることが重要です。何か不満や改善して欲しいことがある場合は、とにかく強気に対応することが大事だと思います。こちらがしっかりと意思を示せば、大抵のことはなんとかなります。 |
| 学習内容・勉強について | 専門である開発経済学を中心に、社会科学系を勉強していました。事前にある程度の知識があったものは理解するスピードも早く、楽しく思うことが多かったです。また、日本のように教科書を読み込むのではなく、新聞の記事や実際の論文を紐解くので、実情に沿った内容だったと思います。講義形式であっても突然教授に意見を求められることも多く、予習は必須だと思いました。あまり発言できず落ち込むこともありましたが、教授の許可を取って講義を録音し、復習と予習をしっかりとっていくことで、次の授業では前回よりも発言するよう心がけていました。アジア人の学生が少なく、すぐに顔と名前を教授だけでなくクラスにも覚えてもらったので、周りを頼りながら講義に参加していました。 |

| | |
|------------|---|
| 課題・試験について | 課題の量はやはり多く、Reading の量も多いので、自分の中でペースを掴むまでは大変でした。エッセイの提出期限間際はほぼ毎日徹夜で、部屋にひたすらこもって書き続けることが多かったです。ただ、慣れてくると計画も立てやすくなり、書き方のコツをつかめるようになります。忙しい時は食事が疎かになりがちですが、食事当番制が大いに役立ち、ご飯をフラットメイトに作ってもらえたので非常に助かりました。講義が終わると図書館にこもって勉強することが多かったです。試験はすべて論述で、知識そのものを問われるというより、それをどう応用するかを見られていました。ただ、自分の専門分野だったので楽しんで勉強できたと、試験で手応えを感じた時は非常に嬉しかったです。 |
| 大学外の活動について | 現地のできた友達の家を訪ねたり、アメリカに行ったりと主に旅行をしていました。一人旅もしました。特に危険な目に遭うことはありませんでしたが、現地の生活に慣れると危機意識が低くなると感じ、たまに気持ちを入れ直すことが必要だと思いました。 |
| 留学を志す人へ | 留学の位置づけは人それぞれだと思います。単に海外生活を送りたいのか、専門分野を学ぶことが重要なのか、それぞれの理由によって生活の中心になるものは変わります。一度海外に出たら「日本人」として見られ、扱われます。自分の行動に伴う結果を常に意識する必要があります。ただ、尻込みする必要はないし、自分に自信を持って、「これをやりたい！」という気持ちに素直に従うことも大切です。そして、私が一番大事だと思ったのは、「大抵のことはなんとかなる」と楽観的になることです。どんなに苦しくても、辛くても、結構なんとかなります。そのためには、とにかくやってみることが大事です。根拠のない自信を持って、やりたいことをやりましょう。 |

一週間のスケジュール(例)

| | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 | 土曜日 | 日曜日 |
|-----|---------------|-----|-------|-------|-----|----------------|------------------------------|
| 午前中 | 図書館にこもる | 講義 | 講義 | 講義 | 自習 | 終日 Day Trip | 自習もしくは買い物 |
| | 映画を観に行く | | | | | | 試験期間やエッセイの締め切り間際はひたすら部屋で勉強する |
| 午後 | 講義 | 講義 | 講義 | 講義 | 講義 | | |
| | | | | | | | |
| 夕刻 | 自習 夕飯の買い出し | 自習 | 自習 | 自習 | 自習 | | |
| 夜 | 食事担当の日 | 自習 | ソサエティ | バブナイト | クラブ | | |